

| 地域活性化伝道師プロフィール | | 分野 | 地域産業・イノベーション・農商工連携 | ○ | 農・林・水産業 | |
|----------------|---|------------------|--|-----------|---------|------|
| | | | 地域医療、福祉・介護、教育 | | 観光・交流 | ○ |
| | | | 地域コミュニティ・集落再生 | | 環境 | |
| | | | 地域交通・情報通信 | | まちづくり | ◎ |
| ふりがな | | ながさか やすゆき | | | | |
| 氏名 | | 長坂 泰之 | | | | |
| 所属 | 名称 | 学校法人中内学園 流通科学大学 | | | | |
| | 役職 | 商学部 マーケティング学科 教授 | | | | |
| 連絡 | 住所 | (公開) | 〒 651-2188 | | | |
| | | (公開) | 兵庫県神戸市西区学園西町3-1 | | | (職場) |
| | 連絡先 | (公開) | E-Mail Yasuyuki_Nagasaka[アットマーク]red.umds.ac.jp | | | |
| | | (公開) | TEL 090-8348-7753 | FAX - | | |
| 連絡方法 | - | | | | | |
| 略歴 | <p>長年、中小企業診断士として、国の中小企業施策の実施機関である独立行政法人中小企業基盤整備機構において、中心市街地活性化、商業集積活性化、中小企業診断士養成、後継者養成、ベンチャー企業養成、インキュベーション施設運営、震災復興支援(阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、の産業集積の復興)などの現場の支援に携わる。</p> <p>2019年から流通科学大学に転職。2023年4月から現職。</p> <p>50歳から大学院へ。横浜市立大学大学院都市社会文化研究科都市社会文化専攻博士後期課程修了(2021年3月、博士、学術)、</p> <p>現在、地域活性化伝道師(内閣府)のほか、中小企業診断士(経済産業省)、中小企業庁商業関係委員会委員(中小企業庁)、中心市街地サポートアドバイザー(中小機構)、陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議委員(陸前高田市)、関西ネットワークシステム(KNS)関西西部世話人などを歴任。過去には岡山まちの夢学生アイデアコンテスト審査委員にも就任。</p> | | | | | |
| 著作・論文等 | <p>「失敗に学ぶ中心市街地活性化」(共著、2008年)</p> <p>「中心市街地活性化のツボ」(単著、2011年)</p> <p>「100円商店街・バル・まちゼミ」(編著、2012年)(ともに学芸出版社)。</p> <p>「復興陸前高田～ゼロからのまちづくり～」(2022年編共著、鹿島出版会、2023年日本建築学会著作賞受賞、2023年土木学会出版文化賞受賞)</p> <p>論文に、</p> <p>東日本大震災の復旧・復興期における商業集積支援策に関する研究(2018年10月、日本都市計画学会)</p> <p>次代に向けた中心市街地の商業活性化事業の在り方についての研究(2017年3月、文教大学・湘南フォーラム、長坂泰之、梅村仁)。</p> <p>東日本大震災の津波被災市街地における商業集積の復興プロセスに関する研究(2021年3月、横浜市立大学大学院都市社会文化研究科、博士論文)</p> <p>コロナ禍は商店街にいかなる影響を与えたか-緊急事態宣言期における神戸元町商店街実態調査より-(2021年3月、流通科学大学論集-流通・経営編)</p> | | | | | |
| 取組概要 | <p>地域の課題が複雑化する中で、商業機能を含むまちの機能の集約を中心に、地域再生・創生、中心市街地の再生、震災復興支援、まちなか観光、地域資源活用などをプロジェクトチームを組んで支援をしています。また、事業リスク、事業の成立性、投資採算性、コミュニティの創造、エリア価値の創造、そして人づくりの観点から、プロジェクトをチェックし、時代の変化に対応し、かつ身の丈に合った計画づくりを心掛けてご支援をさせていただいています。</p> <p>これまで、全国各地の中心市街地活性化基本計画策定支援、中心市街地実効性評価事業・中心市街地診断サポート事業などを通じた中心市街地に対する支援のほか、阪神淡路大震災では新長田地区の小売市場や商店街の再生支援、東日本大震災では津波被災地のまちなか再生計画策定支援などを行ってきました。その他南海トラフ地震の事前復興に関する研究会などにも参画していました。</p> | | | | | |
| メッセージ | <p>地域の役割が見直さざるを得ない状況において、新たな地域の役割を発掘、発見し、持続可能な地域づくりをしていくには、単独の専門家の専門知識だけで進められることは限られています。これからは、豊富なネットワークを活用できる人材が中心となって、地元が主体的に活動できることを目標に置きながら、専門家がチームを組んで問題を解決したり、あるいは地域の新たな価値の創造を支援する必要があります。</p> <p>併せて、アフターコロナの商業集積のあり方についても、仲間と模索を続けています。</p> | | | | | |
| 関連ホームページ | https://book.gakugei-pub.co.jp/gakugeiBook/9784761525101/ https://www.umds.ac.jp | | | 活動 エリア | 全国 | |

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。